

<中国四国地区>

～食品製造業等での経験を生かし、かんきつ(レモン等)栽培を開始～

1 農業経営の概要

就農地	広島県
氏名(年齢)	菅 秀和(41歳)
営農類型(規模)	果樹(かんきつ)
農業経営開始時期	平成27年1月
労働力	1名(本人)



2 就農までの経歴・就農のきっかけ

- ① 愛媛県出身(実家は非農家)。会計専門学校卒業後、食品製造業に就職。
- ② 以前から興味があった農業経営への思いが強くなり、34歳の時に広島県内の農業生産法人に入社し、生産技術、マーケティング等について研鑽を積み、独立に向け準備。
- ③ 40歳の時にレモン等かんきつ類を生産するために、青年等就農資金(設備資金・長期運転資金)を借入れ、独立就農。

3 営農において工夫している点・資金を利用した効果など

- ① 農業生産法人での勤務経験等も生かし、各地の先輩経営者とも積極的に交流し情報交換。農外勤務での経験も加え、園地管理等に反映させている。
- ② 販売についても、製品の特長を生かせる直販先の開拓に取り組んでいる。
- ③ 生産設備のための資金だけでなく、果樹経営の特性でもある、成園化するまでに要する運転資金を確保できたことで、安心して経営を開始することができた。

4 今後の経営展開(抱負)

食品製造業で培った工程管理の手法、農業生産法人で学んだ生産技術やノウハウを活かし、「未来の子供たちにおいしい食べ物と美しい風土を」という経営理念を大切に、地域の担い手として活躍していきたいと考えている。